

近藤 正美 議員

安間 亨 議員

寺田 守 議員

袋井新時代の 都市構想は

問 新市長の子どもたちへの教育の在り方はどうか。

答 身に付けさせたい力は人間力で、変化の激しい、先行き不透明な厳しい時代の中で、子どもたちが疑問や課題に能動的に関わり、自ら成長していくための「生き抜く力」を育む教育を推進したい。

70歳現役の 高齢者雇用は

問 本市の65歳以上の就業者の実態はどうか。

答 直近の平成27年の国勢調査では、本市の65歳以上の就業率は約25%で、国の約22%より高い。ハローワーク磐田管内のパートタイムを含む求職者数は、令和3年4月時点で621人であり、フルタイム・パートタイムともに近年増加傾向にある。

性の多様性への配慮

問 同性パートナーを婚姻に準ずる関係と自治体が認める、「パートナーシップ制度」の導入は。

答 市内では性的少数者の理解が進んでいない状況である。市民や事業所などへの啓発を進めるとともに、情報収集、先進地の視察など、本制度の導入自治体の状況を把握する中で検討していく。

デジタル社会の 課題と対応は

問 今後懸念されるデジタル格差にどう対処するか。

答 デジタル活用は、さまざまな手続きやサービスを受けることができ、高齢者にとっても暮らしやすい社会の実現につながる。今がデジタル化への過渡期であることから、デジタルとアナログを併用し、全ての市民が利便性を実感できる社会を目指したい。



スマートスピーカーに話しかける高齢者

父親の育児支援

問 男子はズボン、女子はスカートの概念にとらわれない、男女問わず着用できるジェンダーレス制服の導入は。

答 一部の中学校では、生徒へのアンケートの実施やジェンダーレス制服の導入検討を進めている。性的少数者を含めた全ての子どもたちが安心して学校生活を送れるよう支援していく。

問 父親が子育ての主体として参加できるよう、父親を対象とする講座やイベントの拡充が必要では。

答 母親に比べ父親を主体とした講座などは多くない。父親が参加しやすい、また、参加したくなる講座やイベントなどが実施できるよう、情報提供や支援の充実に努めていきたい。



市役所1階多機能トイレの表示

発注業務の 市内業者採用

問 市の発注業務における市内業者比率アップについての考えは。

答 建設工事において令和2年度の市内業者の受注率が、金額ベースでは93%と高い割合となっている。今年度からは下請け制限を撤廃し、市内業者への下請け発注の推進にも努めている。

市内公共交通の充実

問 高齢者のためのデマンドタクシーの充実についての考えは。

答 現在の運行上、さらなる拡充は難しい状況にある。地域や交通事業者と協力して運行する市内のタクシー業者が参加しやすいような（仮称）地域タクシーの導入を検討していきたい。

地域産業の活性化

問 市の特産を生かしたグルメリサーチ構想とはどのようなものか。

答 市の特産品などの食に着目し、グルメの持つ魅力を生かしたまちづくりを進めていこうとするものである。具体的な取り組みについては、今後、市内外の関係者の意見やアイデアを伺い組み立てていきたい。



現在運行中のデマンドタクシー